

授業科目名 ( 英文名 )	Writing 2 英語W 2 ( L 3 )	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1 年次・後期
担当教員	栗原 典子	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	1) 日常的な社会活動において必要となる英語文を正しく書くことができる 2) 様々な場面における英文を書くための語彙や文法を習得している 3) 英文の文章構成法を理解し応用することができる		
講義内容・授業計画	英文のパラグラフ構造を習得し、パラグラフを効果的に構成する方法を学習し、正確に意見を表現できるスキルを向上させる。与えられた課題を着実にこなすことが求められる。  1. Introduction: Process Writing 2. Pre-Writing: Getting Ready to Write 3. The Structure of a Paragraph 4. The Development of a Paragraph 5. Descriptive Paragraphs 6. Opinion Paragraphs 7. Comparison/ Contrast Paragraphs 8. Problem/Solution Paragraphs 9. The Structure of an Essay 10.Outlining an Essay 11.Introductions and Conclusions 12.Unity 13.Coherence 14.Essays for Examinations 15.まとめと評価		
テキスト	Writing Essays: From Paragraph to Essay (McMillan) by D. E. Zemach & L.A. Ghulldu		
参考文献			
成績評価の基準・方法	日常的な社会活動において必要となる英語文を正しく書くことが出来、英文の構成法を習得しているものに単位を授与する。講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じて、S から C まで成績を与える。小レポートなどによる平常点40%、レポート60%を基準として、受講態度を含めて総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	・理由のある欠席の場合は必ず証明書を提出すること（例：病欠の場合は、診断書（コピー可）、病院の領収書等）。  ・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。		
実践的教育	該当しない		
備考	本授業には、学生が授業中に英語を用いた活動に取り組むアクティブ・ラーニングが含まれる。		